

共に生きる喜び



ボランティアに関心はあっても、なかなか手が出ない——そう思っている人は意外と多いようです。「参加方法が分からない」「きっかけがない」「何をすればよいか分からない」などの思いから、できないという人もいます。

「ボランティア」というものを大げさに考えないで、日頃から当たり前に行われている「他者との支え合い」と捉えてはどうでしょうか。そうすれば「社会のためにできること」を見つけることができるのではないのでしょうか。

私たちは支え合って生きています。お互いを認め、理解し合ってこそ「共に生きる喜び」を味わうのです。

ボランティアの場合も、そこで関わった人たちから学ぶことがあったり、「自分自身もこうして支えられている」と気づいたり、自分の中に眠っていた能力や新たな可能性を見いだしたりと、自分自身も得るものがあるでしょう。相手の喜び

に触れて「自分も役に立つことができた」という実感が得られたなら、それは何よりの喜びとなるはずです。

どんな小さなことでもいいのです。みずからの可能性を信じて始めてみませんか。その一歩が、この社会と自分自身の人生を潤いのあるものにしていくのです。

(参考)モラロジー研究所
『ニューモラル』五七十八号)

■公益財団法人モラロジー研究所
千葉県柏市。モラロジーは

「道徳」を表すモラルと「学」を表すロジィからなる学問名。倫理・道徳の研究と、社会教育を推進する研究教育団体です。

【お問い合わせ】広報部
04・7173・3341

■心を育てる月刊誌
『ニューモラル』見本誌贈呈(お一人様、一度に限ります)

住所・氏名・電話番号・
「なのはなシニア千葉」を
明記して出版部にFAX
(04・7173・3324)
を。